

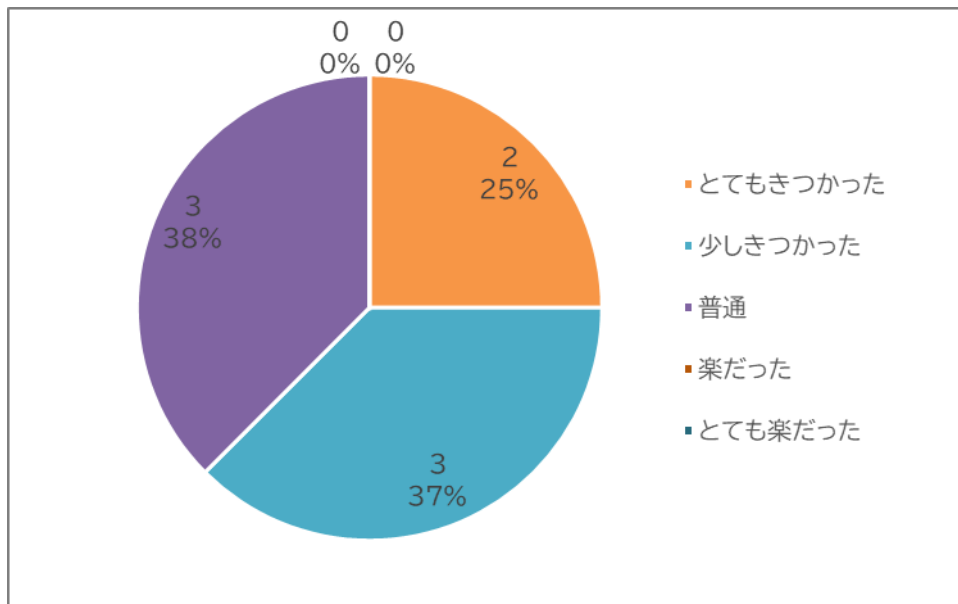
令和7年度 生駒市総合防災訓練「帰宅困難徒歩訓練」アンケート結果

実施日:令和7年4月27日(日)

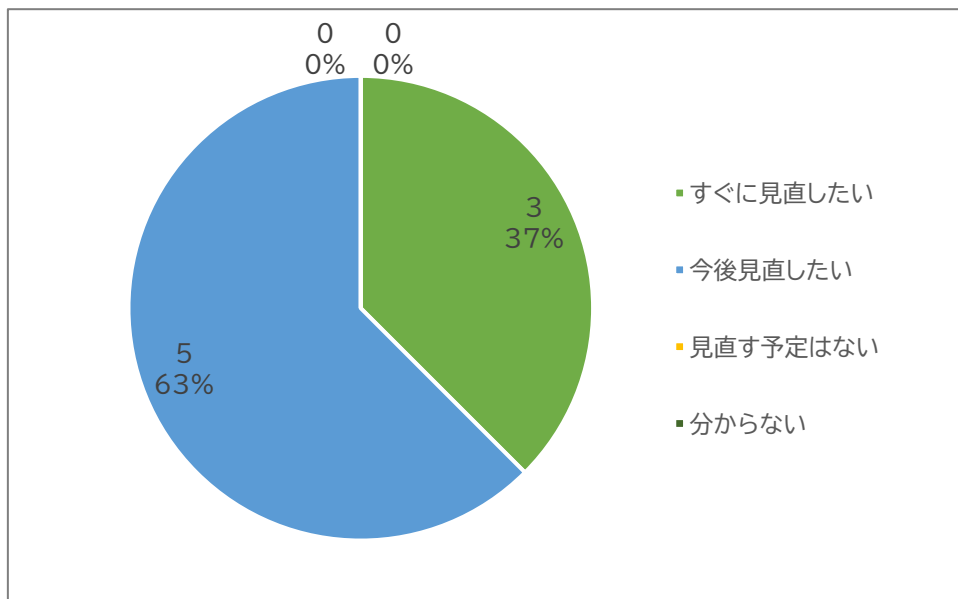
参加者:合計34名(一般参加者、協力職員含む)

アンケート回答者:8名

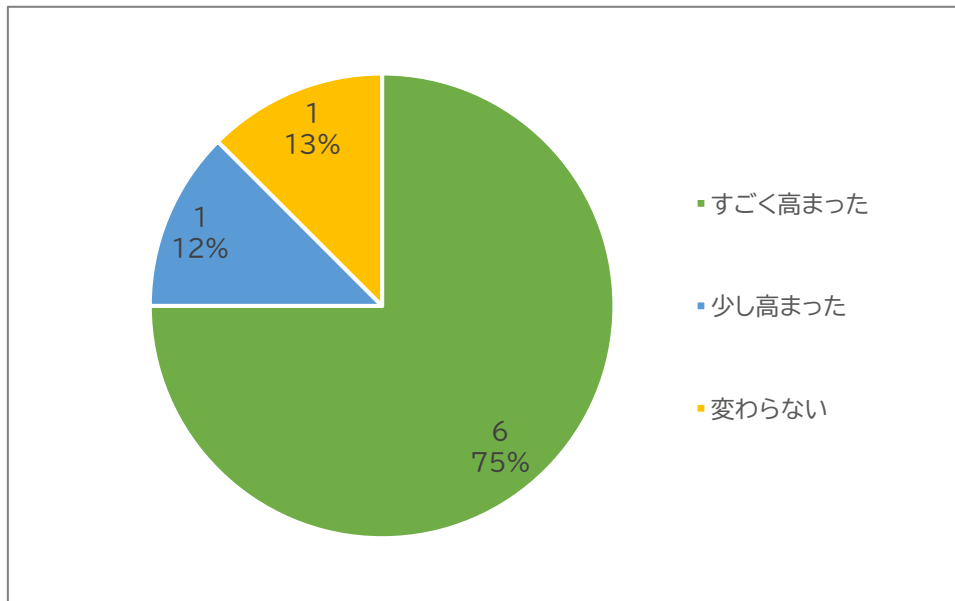
Q1. 今回の訓練について強度はいかがでしたか？



Q2. 今回の訓練参加に参加して日頃の備えを見直したいと思いますか？



Q3. 今回の訓練参加により、防災意識(自助・共助)は高まりましたか？



Q4. 災害時に役立ちそうな発見など、今回の訓練に参加する前の想定と違ったことはありませんか。

- ・日が落ちてからは生駒山は越えられないと感じた。
- ・生駒山を登る、下るには天候や気温や発災時の服装等状況によって想像以上に準備が必要だと思いました。発災後に正しい情報を得てから行動を起こすということの大切さが理解できました。
- ・山越え、ルートによって負荷が違いすぎることを再認識した。
- ・逆に本当に徒歩で帰宅するかなと考えた
- ・日頃から帰宅ルートを複数考えておく必要がある。
- ・暑いから水分たくさんとった。
- ・アクエリアス飲むとたくさん飲んでしまうのでトイレが近くなるので我慢するのがしんどかった。緑茶も好きで飲んでたら、それも同じ。水か麦茶にしたらまだそんなにトイレが近くならないことが反省点です。
- ・荷物が重すぎるので、職場に置いている避難バッグの中身を見直そうと思った。
- ・また、暗峠で日頃から練習しようと思った。

Q5. 今回の訓練で一番印象に残ったこと又は印象に残ったものは何ですか？

- ・生駒は陸の孤島だと感じた
- ・生駒山を下る時に石道を下る区間が長くスニーカーでも滑らないか気をつける区間があり、革靴など滑りやすい服装では危険と思います。
- ・今回の訓練は天候に恵まれましたが、夏場の炎天下では体力的にしんどいところも多いと思います。
- ・普段の通勤の靴や服装では、帰宅徒歩は無理だと思います。
- ・想定以上に、生駒山の高さを認識した。
- ・市役所職員の方の雰囲気の良いところとここまでよくやっていただけたことへの感謝
- ・B コースでの生駒山越えは相当ハードである。
- ・歩くのは大変ではなかったけど、トイレ我慢するのがしんどかった。その前に水分を抑えとけばよかった。
- ・山道がしんどかった。

Q6. 今回の訓練を通して、他の市民に一番伝えたいことは何ですか？

- ・一度歩いて実感するのとしないでは大違いだということ
- ・大阪に通勤、通学をされる方は一度体験した方がよいと思います。
- ・大阪より通勤されるかは、一度訓練徒歩に参加されるとよいと思いました。
- ・まずはコース全てなくても、一部でも参加してみてはどうかと感じます。平坦なコースだけでも、何がどこにあるのかよくわかるだけでも、メリットあり。
- ・市役所の方が災害の備えをよく考えてくださっているということ
- ・大阪に通勤通学している人は徒歩帰宅訓練を時々行う必要がある。
- ・一回経験しとかないと、いきなり本番は無理。まずは山越えを経験してほしい。
- ・山越えは大変で、すぐには帰ってこれないため、自宅の備蓄の強化や、子供や老人がいる家庭では避難先や連絡方法などしっかり決めておいた方がよい。